

犬猫の殺処分ゼロを目指す活動への支援

現状・課題

- 和歌山県では、年間約1,000匹の犬猫が収容され、その内約3割が収容後まもなく死亡したり、治癒の見込みがないなどの理由でやむを得ず殺処分されています。

取組

- 殺処分ゼロを目指すため、以下の活動を強化します。

適正飼養の普及啓発強化

- ・SNSを活用し、幅広い世代に啓発を行います。
- ・動物愛護教室や飼育体験教室の内容を充実させます。



保護収容された犬猫の返還譲渡の推進

- ・マイクロチップ装着の普及啓発を行います。
- ・収容動物のケアをさらに充実させます。
- ・譲渡事業に携わるボランティアを育成します。



地域猫対策の推進

- ・地域住民が実施する地域猫対策を支援します。

寄附金の使途

- 和歌山県動物愛護センター運営費
(譲渡事業や啓発物資の購入等)
- 不幸な猫をなくすプロジェクト事業費
(不妊去勢手術に係る医療費等)

